

ICT活用コーディネーターによる 校内の職員の ICT 活用の意欲を高める

ステップ1

MetaMoji を使ってみよう

こんな先生方の姿が生まれました！

- 「ちょっと授業で使ってみようかな。」という先生の声が生まれました。
- 教科部で「こんな使い方ができるかな。」と交流する姿がありました。
- 実際に使ってみたことで「こんなことはできないの？」という意欲的に取り組む姿がありました。

ICT コーディネーターによる MetaMoji 研修

ICT コーディネーターが、フィールド校の職員対象に MetaMoji の研修を行い、基本的な使い方に触れ、「授業で使ってみよう」という意識を高める。

- ・ ICT 活用のねらい、目的を説明。
- ・実際に使ってみることで MetaMoji の機能（できること、できないこと、授業で生かせそうなこと）に触れる。
- ・タブレットに触れ、お互いに聞き合うことができる雰囲気の中で行う。



「職員研修」のポイント

- 内容を吟味し、伝えることが多すぎないようにする。（講義と実習のバランスを考える）
- 実際に使ってみることで、お互いに試し、聞き合うことで MetaMoji に慣れることを重視。
- 授業場面を想定し、単位時間のいつ、どこで、どのように使うことができそうなのかをお互いに交流する。
- 研修終了後の感想を取り、職員の願いや困り感を捉え、今後の研修につなげる。

「MetaMoji 研修」を終えての感想



学んだことを今後の授業に生かす

- ・授業で資料（プリント）を配布することが多いので、データとして生徒に配布することができれば、より見やすく、効率もよくなると思う。
- ・生徒同士が提出したノートを自由に見ることができるようにすることで、仲間の考えを参考にして考察したり、まとめをしたりするなど、粘り強く学習することにつなげたい。

今後考えていくべきこと

- ・MetaMoji を使い、生徒から出た疑問や教師の困り感を基に継続的に研修を行う。
- ・タブレットは道具。課題追究における手段であって目的ではないため、単元や単位時間のどの場面で活用していくのか吟味し、効果的に活用していく。
- ・生徒同士がノート自由に見ることができるようになることで、仲間のデータを書き換えることなどがないよう指導する。

